



2027年度 入学者選抜要項

大 学 院

■看護学研究科

看護学専攻(修士課程)

看護学専攻(博士課程)

はじめに	P.1
入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	P.2

入学者選抜概要 P.3

看護学研究科	
修士課程	P.3
博士課程	P.4

出願手続 P.5

出願から入学手続まで	P.5
出願に必要な書類	P.6
出願手続	P.7
受験料支払い	P.10
出願書類提出方法	P.10
受験上の注意	P.11

合格発表・入学手続 P.12

合格発表	P.12
入学手続	P.13
納付金	P.13

試験場の案内 P.15

試験場案内図	P.15
--------	------

研究指導内容 P.16

修士課程	P.16
博士課程	P.23

Q&A P.28

Q&A	P.28
-----	------

■はじめに

●受験生の皆様へ

この入学者選抜要項には、出願手続から入学手続完了までのすべてが記載されています。まず一通り熟読し、そのうえで必要なページを読み返し、誤りのないよう出願を行ってください。

また、**出願後、本人の入力ミス等による出願内容の変更は、いかなる場合もできませんので注意してください。**

●受験上の合理的配慮について

本学では、障がいのある受験生が、他の受験生と同様に能力を発揮できるよう、受験上の合理的配慮に関する申請を受け付けています。出願に先立ち、必ず入試課へご相談ください。

なお、以下のような配慮については、個別の状況に応じて検討いたします。

- ・別室での受験
- ・座席の配慮
- ・補助具（ルーペ、補聴器等）の使用許可
- ・試験監督者による口頭説明の補足（聴覚・視覚障害に応じて）

受験上の配慮を希望される場合は、診断書や配慮希望内容を記載した書面（メモ書き等）をご用意のうえ、出願開始の2週間前までに入試課へお問い合わせください。

●担当希望教員との事前面談について

本学の研究指導内容（P.19～22・P.25～27『教育研究および担当教員』）を確認のうえ、出願希望の方は、出願前に必ず入試課へご連絡ください。その後、担当希望教員と面談のうえ、研究内容の方向性を確認します。

●留学生の皆様へ

本学の授業等は原則として日本語で行われるため、「日本語教育の参照枠」におけるB2相当以上（日本語能力試験〈JLPT〉N2総合得点112点以上、またはN1総合得点100点以上）の日本語能力が必要です。

出願にあたっては、上記の日本語能力を証明する書類の提出が必要です。詳細はP.6をご確認ください。

お問い合わせ先 帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiセントラル 入試課 TEL：03-5843-3200

「個人情報の取り扱いについて」

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は本学におきまして入学案内、入学試験に関する業務を行うために利用します。

この業務の一部は、本学より当該業務の一部を委託した業者（以下、「受託業者」という）にて行います。業務委託にあたり、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

「安全保障輸出管理について」

帝京平成大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「帝京平成大学安全保障輸出管理規程」を定め、安全保障輸出管理を実施しています。そのため、入学時及び入学後の教育・研究活動等に際して、必要に応じて確認を行う場合があります。なお、外国籍の方または在留資格が「留学」である方については、安全保障輸出管理上の確認のため、所定の誓約書を提出していただきます。確認及び誓約書の内容等に基づき、法令等の規制に該当すると判断された場合は、希望する研究活動や教育内容の一部に制限が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

■【看護学研究科】

看護学研究科は、その教育・研究目的を達成するために、建学の精神に則り、以下の入学者を求める。

- ①各専攻が求めている入学要件を満たす能力を有している。
- ②医療・看護・保健の実践・教育分野において、高度な専門職業人として、自ら見出した研究課題について意欲的に学修・研究することができる意志を有している。
- ③高い倫理観のもと、責任感をもって研究を遂行できる能力を備えている。

看護学専攻（修士課程）

看護学研究科 看護学専攻（修士課程）は、その教育・研究目的を達成するために、建学の精神に則り、以下の入学者を求める。

- ①自ら見出した看護課題について具体的な問題意識をもち、当該課題の関連分野において、熱意をもって学び探究することができる。
- ②生命倫理や医療・看護の倫理を尊重しながら看護研究とその実践に取り組む積極性と行動力を備えている。

看護学専攻（博士課程）

看護学研究科 看護学専攻（博士課程）は、その教育・研究目的を達成するために、建学の精神に則り、以下の入学者を求める。

- ①専門的知識や技術に関する看護実践能力および基礎的な研究能力を有し、大学院で学修・研究する明確な意志を有している。
- ②医療・看護・保健の実践・教育分野で活躍しており、博士論文の作成につながる独創性のある具体的な看護課題を提起し、その解決に向けて探究することができる論理的な思考力を有している。
- ③高い倫理観のもと、責任感をもって、主体的に研究を遂行できる能力を有している。

課程修了の認定 および学位

課程	在学期間	修得単位および条件	学位
修士	修士課程 2 年以上 4 年以下	・ 30単位以上 ・ 学位論文の審査および試験に合格した者	修士(看護学)
博士	博士課程 3 年以上 6 年以下	・ 16単位以上 ・ 学位論文の審査および試験に合格した者	博士(看護学)

※社会人入学者で、長期履修学生制度を希望の場合はP.13を参照

看護学研究科 入学者選抜概要

修士課程 看護学研究科

修学キャンパス 中野

1. 募集人員（社会人枠含む）

看護学専攻 3名

2. 出願資格

以下の各号のいずれかの条件を満たし、かつ、看護師、助産師、保健師としていずれかの実務経験を有する者^{*1}を対象に入学者選抜を実施する。

- (1) 大学を卒業した者（2027年3月卒業見込みの者を含む）。
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または2027年3月までに修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者または2027年3月までに修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準に該当する者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月末までに修了見込みの者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。
- (8) 2027年4月1日現在で満22歳以上であり、本大学院において個別の入学者資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者^{*2}。
- (9) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者^{*2}。
- (10) 社会人枠は、上記(1)～(9)のいずれかに該当し、病院・施設等の正規職員で、所属長から推薦を受けた者とする^{*3}。

※(注) 1 実務経験を有しない者で受験を希望する者は、別途入試課まで連絡をお願いします。その状況を勘案して受験を許可する場合があります。

※(注) 2 出願資格(8)または(9)により受験を希望する者は、出願資格の確認を行いますので、出願に先立ち、出願開始日の2週間前までに入試課へご連絡ください。

※(注) 3 「社会人枠」とは、病院・施設等に勤務している者を所属長からの推薦に基づいて選抜する制度である。推薦を行う病院・施設等は、在職のままの修学について応諾することを前提とする。

3. 試験日・試験場

試験区分	出願期間(出願期間内必着)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験場
I 期	2026年9月10日(木)～10月2日(金)	10月25日(日)	10月30日(金)	11月13日(金)	帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiセントラル
II 期	2027年2月1日(月)～2月25日(木)	3月14日(日)	3月16日(火)	3月23日(火)	

※各試験区分において、出願期間最終日の出願登録は16:00までとなりますので、ご注意ください。

4. 選考方法 筆記試験・面接・書類審査などで総合的に判定します。

(1) 筆記試験

①小論文

②英語：辞書は大学より貸与

(2) 面接

希望する研究内容や意欲、その他、研究継続性等について行います。

5. 時間割 9:00までに試験場に集合してください。

面接の終了時間は順番によって異なります。

受験上の注意	小論文	英語	昼食	面接
9:15～9:30	9:30～10:30	10:50～11:50	11:50～12:55	13:00～

※最終入室時間は試験開始20分後まで（9:50）となります。

※各自で昼食を用意してください。学生食堂は営業していません。

看護学研究科 入学者選抜概要

博士課程 看護学研究科

修学キャンパス 中野

1. 募集人員 (社会人枠含む)

看護学専攻 3名

2. 出願資格

以下の各号のいずれかの条件を満たし、かつ、看護師、助産師、保健師としていずれかの実務経験を有する者^{*1}を対象に入学者選抜を実施する。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者 (2027年3月までに取得見込みの者を含む)。
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位・専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定された外国の学校の課程 (文部科学大臣指定外国大学 (大学院相当) 日本校) を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (6) 外国の学校、(4)に規定する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (7) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者。
- (9) 2027年4月1日現在で満24歳以上であり、本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者^{*2}。
- (10) 社会人枠は、上記(1)～(9)のいずれかに該当し、病院・施設等の正規職員で、所属長から推薦を受けた者とする^{*3}。

※(注) 1 実務経験を有しない者で受験を希望する者は、別途入試課まで連絡をお願いします。その状況を勘案して受験を許可する場合があります。

※(注) 2 出願資格(9)により受験を希望する者は、出願資格の確認を行いますので、出願に先立ち、出願開始日の2週間前までに入試課へご連絡ください。

※(注) 3 「社会人枠」とは、病院・施設等に勤務している者を所属長からの推薦に基づいて選抜する制度である。推薦を行う病院・施設等は、在職のままの修学について応諾することを前提とする。

3. 試験日・試験場

試験区分	出願期間(出願期間内必着)	試験日	合格発表日	入学手続締切日	試験場
I 期	2026年9月10日(木)～10月2日(金)	10月25日(日)	10月30日(金)	11月13日(金)	帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiセントラル
II 期	2027年2月1日(月)～2月25日(木)	3月14日(日)	3月16日(火)	3月23日(火)	

※各試験区分において、出願期間最終日の出願登録は16:00までとなりますので、ご注意ください。

4. 選考方法 筆記試験・面接・書類審査などで総合的に判定します。

(1) 筆記試験

①小論文

②英語：辞書は大学より貸与

(2) 面接

希望する研究内容や意欲、その他、研究継続性等について行います。

5. 時間割 9:00までに試験場に集合してください。

面接の終了時間は順番によって異なります。

受験上の注意	小論文	英語	昼食	面接
9:15～9:30	9:30～10:30	10:50～11:50	11:50～12:55	13:00～

※最終入室時間は試験開始20分後まで (9:50) となります。

※各自で昼食を用意してください。学生食堂は営業していません。

■ 出願から入学手続まで

大学院担当教員 への連絡

- 教育研究および担当教員(P.19～P.22・P.25～P.27)のページを参照し、本学の研究指導内容を確認してください。
- 出願する前に担当希望教員とご相談ください。なお、担当希望教員の連絡先は入試課(TEL.03-5843-3200)にお問い合せください。

1

事前準備 (P.5～7参照)

- 担当希望教員との事前面談(必須)
- 出願に必要な書類の準備
- メールアドレスの準備
- 顔写真データの準備

2

インターネット出願登録 (P.7～9参照)

- 個人情報・顔写真データ・出願情報の登録
- インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順

3

受験料支払い (P.9～10参照)

- インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順
- 受験料
- 受験料支払い方法

4

出願書類提出方法 (P.10参照)

- 郵送による提出
- 直接来学による提出

5

受験票の確認 (P.10参照)

- 受験票の印刷

6

受験上の注意 (P.11参照)

- 試験場
- 集合時間
- 持参品
- 服装
- 試験中の注意

7

合格発表 (P.12参照)

- インターネットによる合否照会

8

入学手続 (P.13～14参照)

- 入学手続方法
- 納付金
- 長期履修学生制度
- 入学許可の取消しについて
- 入学辞退手続

出願に必要な書類

- ・「本学HPより取得が必要」部分に○のある書類は、必要に応じて本学ホームページより取得してください。
- ・提出漏れ防止のため、「チェックリスト」欄を活用しながら書類を準備してください。
- ・間違いや不備のないよう、よく読み、提出する前に再度確認してください。
- ・提出書類をまとめる必要がある場合は、ホチキス留めはせず、クリップ等を使用してください。

《全員必須》

書類の種類	注意点	本学HPより取得が必要	チェックリスト
① 志願票	インターネット出願画面から出力・印刷の上、必ず封入してください。	/	☐
② 志願者履歴書	本学ホームページより取得し、必要事項を入力の上、印刷して提出してください。 ※手書きでの作成は不可とします。	○	☐
③ 成績証明書	最終学歴校の学校長等が作成し、 厳封したもの 。	/	☐
④ 取得資格免許証のコピー	看護師・保健師・助産師いずれかの国家資格免許証のコピーを提出してください。	/	☐
⑤ 研究希望書(様式任意)	大学院での研究計画等について入力し提出してください。	/	☐

《修士課程志願者のみ必須》

書類の種類	注意点	本学HPより取得が必要	チェックリスト
⑥ 卒業(見込)証明書	出身大学等で作成し、 厳封したもの 。	/	☐

《博士課程志願者のみ必須》

書類の種類	注意点	本学HPより取得が必要	チェックリスト
⑦ 修士課程修了(見込)証明書	出身大学等で作成し、 厳封したもの 。	/	☐
⑧ 修士論文・修士研究概要(様式任意)、研究業績一覧	修士課程修了者は修士論文の内容を、修了見込者は修士研究の内容を2,000字(英語の場合は500words)程度に要約した概要を提出してください。他に、公表論文・研究業績がある場合は、その写しおよび研究業績一覧(本学ホームページより取得し、入力)を添付してください。	○	☐

《該当者のみ》

書類の種類	注意点	本学HPより取得が必要	チェックリスト
⑨ 実務経験書	実務経験の中で、自身の研究希望にあう症例や経験等があった場合、その書類を提出してください。本学ホームページより取得し、入力し提出してください。	○	☐
⑩ 学位授与証明書(修士課程)	※出願資格(2)に該当する方のみ 大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出すること(授与見込の場合は、学位授与申請受理証明書を提出すること)。	/	☐
⑪ 入学資格審査申請書	※修士課程出願資格(8)・博士課程出願資格(9)に該当する方のみ(P.3～P.4参照) 本学ホームページより取得し、入力し提出してください。	○	☐
⑫ 受験承諾書	出願時に在職中の方で、在職のまま入学を予定している場合には、勤務先所属長の「受験承諾書」を提出してください。 (所定用紙を本学ホームページからダウンロード・印刷) 合格後、退職する予定の方は、志願者履歴書の特記事項にその旨を記載してください。	○	☐
⑬ 戸籍抄本	婚姻等により、出願書類に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、提出してください。	/	☐
⑭ パスポートおよび在留カードのカラーコピー	※日本国内に居住する外国籍の方のみ 以下をカラーコピーし、提出してください。 ・パスポートの顔写真ページ(氏名、生年月日、パスポート番号等が記載されているページ) ・在留カードの両面(在留期間等および現住所が最新のもの)	/	☐
⑮ 留学生個人票	※在留資格「留学」の方のみ 本学ホームページより取得し、必要事項を入力の上、印刷して提出してください。	○	☐
⑯ 日本語能力試験結果	※在留資格「留学」の方のみ 日本語能力試験(N2 112点以上 または N1 100点以上)合格を証明する合否結果通知書または証明書のコピーを提出してください。	/	☐
⑰ 在学中の日本国内教育機関の在学証明書または成績証明書等	※在留資格「留学」の方のみ 出願時に在籍している日本国内の教育機関が発行した学在証明書または成績証明書等(出席率が確認できるもの)を提出してください。	/	☐
⑱ 経費支弁書(本学所定用紙)	※在留資格「留学」の方のみ 本学ホームページより取得し、黒のボールペンで必要事項を記入してください。 必ず記入例を参照し、記入ミスのないようにしてください。	○	☐
⑲ 経費支弁能力証明関連書類	※在留資格「留学」の方のみ 経費支弁能力を証明する書類を提出してください。(本人または経費支弁者名義の残高証明書/年収証明書 等)	/	☐
⑳ 外国語で作成されている書類の日本語訳	外国語で作成されている書類には、原本に加え、必ず公的機関が発行した公印付きの日本語訳を提出してください。	/	☐

※外国籍の方：外国籍を有する者

※在留資格「留学」の方：出願時点で在留資格「留学」を有する者、または2027年3月31日までに取得見込みの者

出願手続

1. 事前準備

● メールアドレスの準備

インターネット出願時にメールアドレスを登録していただきます。

登録したメールアドレスはマイページのログインIDとして使用し、また、出願完了や受験料納金完了をお知らせするメールを送りますので、普段から使用するメールアドレスを準備してください。

● 顔写真データの準備

顔写真は入学者選抜試験当日の本人確認用および入学後の学生証用として使用します。

一度登録された写真は変更できませんので、下記の「○良い例」を参考に、不備のないよう準備してください。

写真データのサイズは、100KB以上5MB以下となります。

※志願票に顔写真は表示されません。また、印刷した志願票に顔写真を貼付する必要はありません。



○良い例



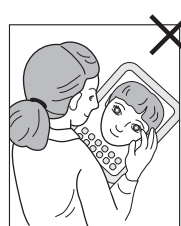
×写りが不鮮明



×どちらかの目が隠れている



×顔の写りが大きすぎる



×アプリ等で顔を加工している

2. インターネット出願登録

● 個人情報・顔写真データ・出願情報の登録

以下のURLにアクセスし、インターネット出願サイトより必要な情報を入力し、出願手続きを行ってください。

出願時の登録・入力ミスによる登録内容の変更は受け付けられませんので、ご注意ください。

※各試験区分において、出願期間最終日の出願登録は16:00までとなりますので、ご注意ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/>

インターネット出願の流れ 受験料支払いの利用手順

1

ガイダンスサイトへアクセス

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/>

2

入学者選抜種別の選択・受験者情報の入力

画面に従って必要な情報を入力してください。入力内容を間違えた場合は、始めからやり直してください。

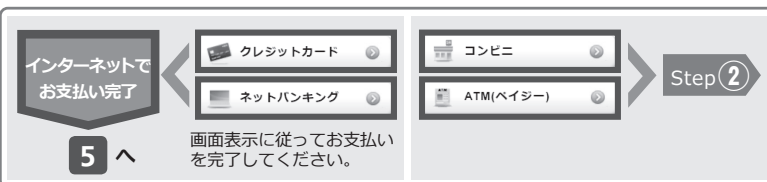
3

支払い方法の選択

(受験料の他に、一件につきサービス利用料がかかります。)

Step ① 受験料の支払い方法を選択します。

「出願登録完了画面」あるいは「マイページの出願確認から表示される申し込み一覧画面」より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。



■クレジットカード

VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club

■ネットバンキング

主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

Step ② お支払い情報を確認します。

コンビニエンスストア・ATMでの支払いに必要なお支払い情報を取得します。
お支払い情報は、支払いをする際に必要な情報ですので、必ずメモを取るか印刷してください。

- コンビニエンスストア
コンビニエンスストア名を選択した後、「お支払い情報取得ボタン」を押してください。



■コンビニエンスストア



セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート

- ATM (ペイジー)

画面表示に従い、「お支払い情報取得ボタン」を押してください。



■ATM (Pay-easy利用可能なATM)

ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行など



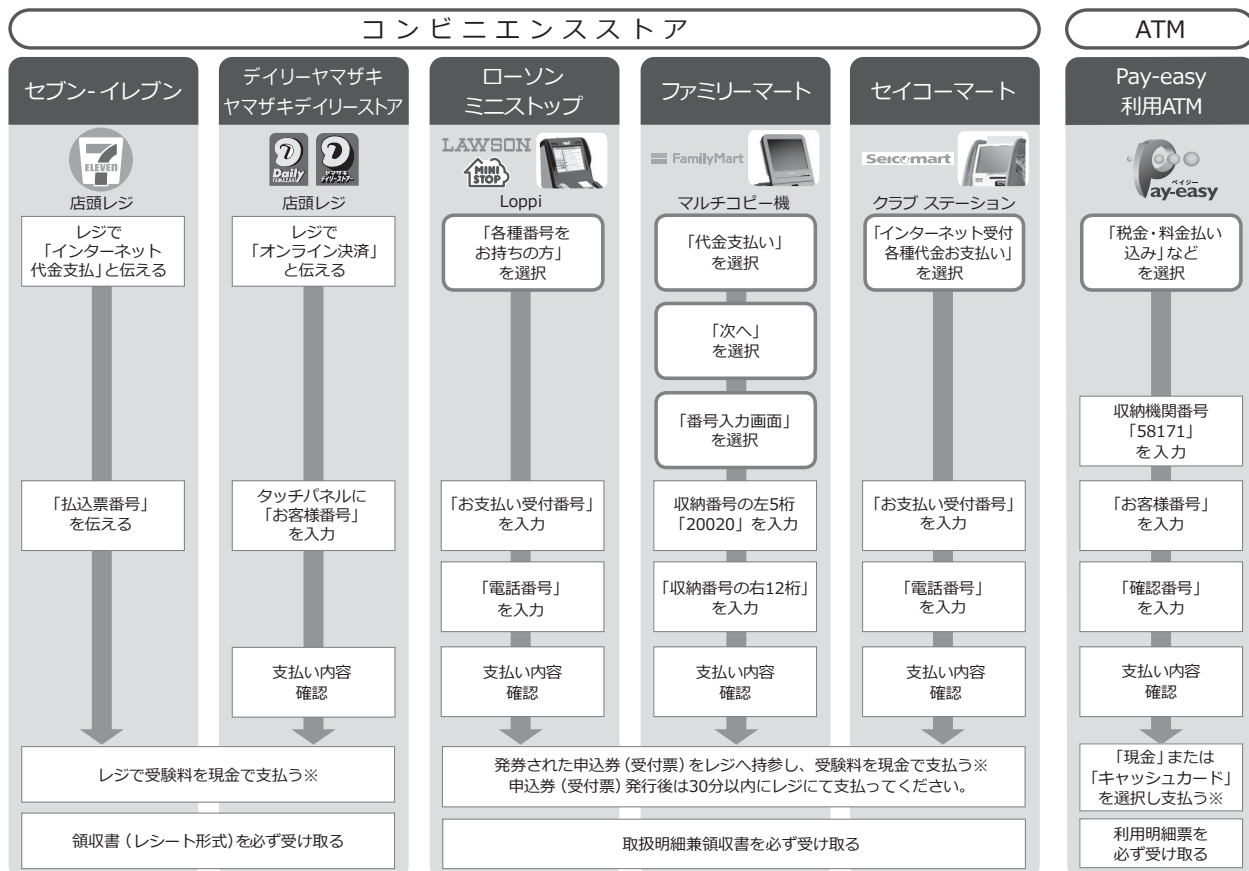
次頁へ

4

受験料の支払い

選択した支払い方法で受験料を支払います。

3のStep②で取得したお支払い情報を持参し、コンビニエンスストア（レジ、設置端末）・ATMにて受験料を支払います。
領収書は必ず受け取ってください。



※ATMを利用する際、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

サービス利用料について

※受験料のほかに、サービス利用料が必要です。登録時にご確認ください。
※複数回登録する場合、サービス利用料がそれぞれ必要となります。

5

志願票・宛名ラベルの印刷

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/>

受験料納入が確認でき次第、入金確認メールを送信します。

メールに記載のURLからガイダンスサイトにアクセスし、志願票・宛名ラベルを印刷し、市販の封筒（角形2号）に貼付けしてください。

（メールが届かない場合、上記URLからアクセスしてください。）

6

出願書類の提出

本要項P.6を参照し、必要な出願書類を確認してから入試課に提出してください。

出願書類は出願締切日必着です。

※今年度、本学への出願が2回目の場合、受験料の入金が完了した時点で出願完了となりますので、出願書類の再提出は不要です。

出 願 完 了

受験料支払い

① 受験料

今年度の入学者選抜を2回出願する場合、2回目は受験料が軽減されます。

研究科	受 験 料	
	1 回目	2 回目
看護学研究科	35,000円	15,000円

※本学出身者は受験料が免除となりますので、手続方法について別途留意事項がございます。受験料を納付する前に必ず入試課に連絡してください。

② 受験料支払い方法（受験料は出願期間内に納付してください）

コンビニエンスストア・クレジットカード・ペイジー・ネットバンキングからの支払い

P.8～P.9「インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順」参照

なお、納付された受験料は、理由のいかんにかかわらず返還できません。

出願書類提出方法

出願情報をインターネット上で登録し、受験料を納付したうえで、出願に必要な書類（P.6 参照）を出願期間内に郵送または直接来学にて提出してください。

【重要】

出願後は、試験日を含む出願内容の変更はできません。また、いかなる場合においても、出願後の書類および受験料の返還はいたしません。

必ず、出願資格から入学手続に至るまでの諸要件を十分にご確認・ご理解のうえで出願してください。

● 郵送による提出

出願書類は市販の角形2号封筒に入れ、インターネット出願システムのマイページからカラー印刷した「出願用宛名ラベル」を貼付のうえ、**簡易書留・速達郵便**で郵送してください。

※出願期間内必着です。**消印有効ではありません**のでご注意ください。

● 直接来学による提出

出願期間内に、出願書類を入試課へ持参してください。

受付時間 平日 9:00～16:00 土曜日 9:00～12:00

※日曜、祝日の事務取扱いはいたしません。

また、9/26、2/13は入館不可となるためご注意ください。

出願書類提出場所（地図はP.15参照）

池袋キャンパス MiNoRiセントラル 入試課 〒170-8445 東京都豊島区東池袋2-51-4

※池袋キャンパス以外のキャンパスでは、出願受付は行っておりません。

受験票の確認

● 受験票の印刷

インターネット出願画面のマイページメニューの「オンライン受験票」より確認・印刷ができます。前日になっても受験票が確認できない場合は、入試課へ電話で照会してください。

● 受験票に関するご注意

- ・記載内容に誤りがないか、必ずご確認ください（出願時の登録・入力ミスによる内容の変更はできません）。
- ・受験票には顔写真は表示されません。また、印刷した受験票に顔写真を貼付する必要もありません。
- ・受験票は試験当日に使用しますので、必ず持参してください。

受験上の注意

① 試験場

試験場は帝京平成大学池袋キャンパス MiNoRiセントラルです。

※インターネット出願時は「東京試験場」と表示されますが、試験場は池袋キャンパス MiNoRiセントラルのみです。

② 集合時間

集合時間は9:00です。机上に貼付された受験番号ラベルを確認のうえ着席し、試験監督者・係員の指示に従ってください。

なお、試験場は8:00開場です（8:00以前は入館できません）。

9:15から受験上の注意について伝達し、9:30から試験を開始します。

遅刻時の最終入室時刻は9:50までとなります。それ以降の入室は一切認めません。

③ 持参品

① 受験票

受験票は、インターネット出願画面のマイページメニューにある「オンライン受験票」をご自身で印刷して持参してください。試験場入室後は、机上に提示してください。受験票を忘れた場合や紛失した場合は、試験当日に総合受付に申し出てください。

② 筆記用具（定規・コンパス・下敷き等の使用は認めません）

③ 時計（時計機能のみのもの）

- 辞書、電卓、通信端末等の機能を有するもの、またはそれらの機能の有無が判別しにくいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型の時計の使用は認めません。
- 携帯電話、スマートフォン等を時計として使用することはできません。携帯電話、スマートフォン等は必ず電源を切り、アラームを解除してかばんの中にしまってください。かばんは中身が見えないよう閉じ、椅子の下に置いてください。
- 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等を机の上に置いたり、身につけていることが確認された場合は、不正行為とみなします。
- 当日、時計の貸し出しはできません。

④ 服装

服装については自由です。（例：スーツなど）

⑤ 試験中の注意

①途中退場は認めません。体調不良等、やむを得ない事情の場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

②試験時間中に以下の不正行為または不正行為の疑いがあると判断された場合は、退室を命じ、失格となることがあります。

- (1) 監督者の指示に従わないこと。
- (2) カンニング（他の受験者の答案等を見ること、カンニングペーパーの使用等）をすること。
- (3) 使用を認められていない用具を使用して解答すること。
- (4) 電子辞書・携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類を使用（机上に置く等）、または身につけていること（面接控室等での待機時間を含む）。
- (5) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

上記の不正行為が認められた場合、それ以降の受験および当該年度における本学のすべての入学者選抜の受験を認めません。

なお、その際に受験料の返還は行いません。

合格発表

合格発表は、発表日（13:00～）から入学手續締切日（～23:59）まで、インターネットによる合否照会を実施します。合否照会の方法については、下記をご参照ください。本学への電話等によるお問い合わせには応じることはできません。また、操作ミス等によるトラブルについては、本学は一切責任を負いません。

● インターネットによる合否照会

以下のURLにアクセスし、インターネット出願システムのマイページ「合否結果」からご確認ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/>（パソコン・スマートフォン共通）

● インターネットによる合否照会における結果表示について

合格の場合



不合格の場合



※画面は開発中のものであり、実際の操作画面と異なる可能性がございますので、ご了承ください。

入学手続

入学手続方法

入学手続は、インターネット出願システムのマイページ「入学手続き」にアクセスし、「納付金の納付」と「入学手続時情報の入力・手続書類の送付」を必ず行ってください。

入学手続締切日までに手続を行わない場合は、入学を許可しません。

1. 合格された方は「入学手続き」内、「入学手続の手引き」、「入学手続ガイダンスページ」で手続方法をよく確認のうえ、間違いのないようにしてください。
2. 入学手続締切日までに上記手続が完了していない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受け付けません。
3. 納付金の納付は半期分納付と年額納付が選択できます。
4. 提出する入学手続書類は、入学手続締切日当日の消印有効とします。ただし、**卒業証明書は必着です**。
5. 納付した納付金のうち入学金、および提出した書類は入学手続完了の有無にかかわらず返還しません。

入学手続 ※入学手続締切日（P.3～P.4 参照）まで

- (1) 「入学手続き」にアクセスして、「入学手続時情報入力」に必要な項目を入力してください。
- (2) 「振込依頼書」をダウンロードして納付してください。金融機関領収印は締切日当日まで有効とします。

入学後情報の入力 ※2027年3月31日（水）まで

「入学手続き」にアクセスして、「入学後情報入力」に原則、全ての項目を入力してください。

納付金

- ・ 学内出身者は入学金を免除します。
- ・ 教科書等については、別途費用がかかります。（単位：円）

区 分	入学金	授業料	施設設備整備費	学生傷害保険料	合計(入学手続時)
	入学時のみ	半期分 (年額)	半期分 (年額)	入学時のみ	半期分納付の場合 (年額納付の場合)
修 士 課 程	200,000	380,000 (760,000)	100,000 (200,000)	1,750	681,750 (1,161,750)
博 士 課 程	200,000	380,000 (760,000)	100,000 (200,000)	2,600	682,600 (1,162,600)

長期履修学生制度

社会人入学者を対象に、通常2年間で修了する課程を3年間で計画的に履修する制度です。

授業料は2年分を概ね3等分して納付いただきます。

なお、施設設備整備費は3年分納付いただきます。

※申請は出願時のみ受け付けます。入学後の変更はできません。

修 士 課 程	200,000	260,000 (520,000)	100,000 (200,000)	2,600	562,600 (922,600)
---------	---------	----------------------	----------------------	-------	----------------------

※2年次、3年次納付金(年額)：700,000円(授業料：500,000円、施設設備整備費：200,000円)

通常3年のところ4年かけて修了したいと希望する者(授業料3年分を概ね4等分。なお、施設設備整備費は4年分納付いただきます。)

博 士 課 程	200,000	285,000 (570,000)	100,000 (200,000)	3,300	588,300 (973,300)
---------	---------	----------------------	----------------------	-------	----------------------

※2年次～4年次納付金(年額)：770,000円(授業料：570,000円、施設設備整備費：200,000円)

提携教育ローン	本学では、株式会社ジャックスの提携教育ローン制度を導入しております。 (照会先)・株式会社ジャックス コンシューマードesk TEL.0120-338-817 ・本学ホームページ (https://www.thu.ac.jp/exam/expenses/loan)				
---------	---	--	--	--	--

国の教育ローン	株式会社日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター TEL.0570-008656 https://www.jfc.go.jp/				
---------	---	--	--	--	--

● 入学許可の取消しについて

本学の合格通知を受けた方であっても、入学手続き完了の有無にかかわらず、以下のいずれかに該当する事由（事実）が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

1. 出願書類や提出書類等に虚偽の記載、重大な事実の隠蔽、その他の不正行為があった場合
2. 入学者選抜試験において、不正行為（カンニング等）があった場合
3. 2027年3月31日までに、本学が定める入学資格を満たしていることが確認できない場合（卒業証明書等の未提出、在留資格「留学」の取得が確認できない場合等）
4. 入学前において、法令に違反する行為、社会秩序を著しく乱す行為、または本学の名誉もしくは信用を損なう行為があった際に、その事実について処分・結果が未だなされていない場合
5. その他、本学の学生として不適当と認められる重大な事由がある場合

※上記事由により入学許可が取り消された場合、すでに納付された入学金および学費等は返還しません。

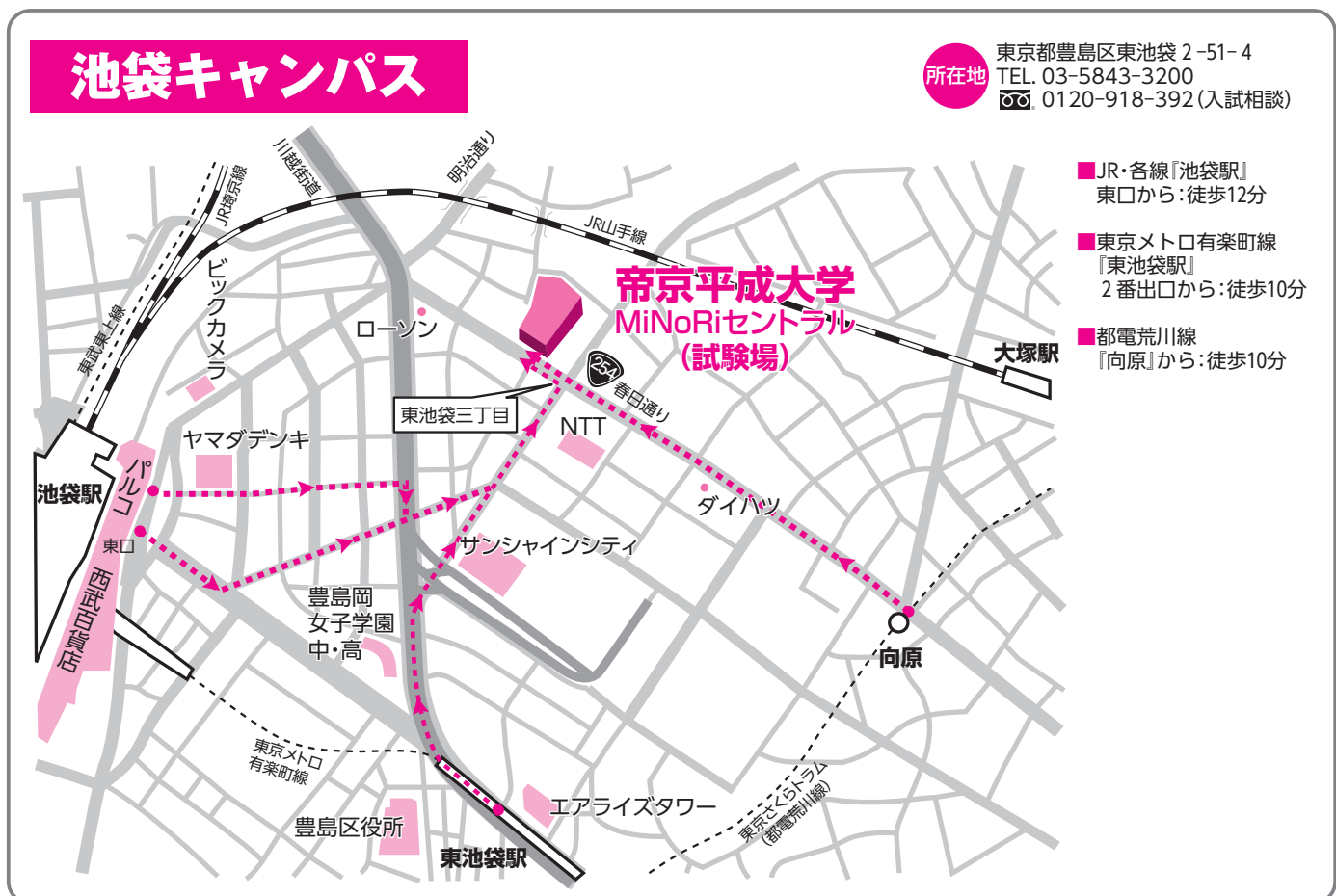
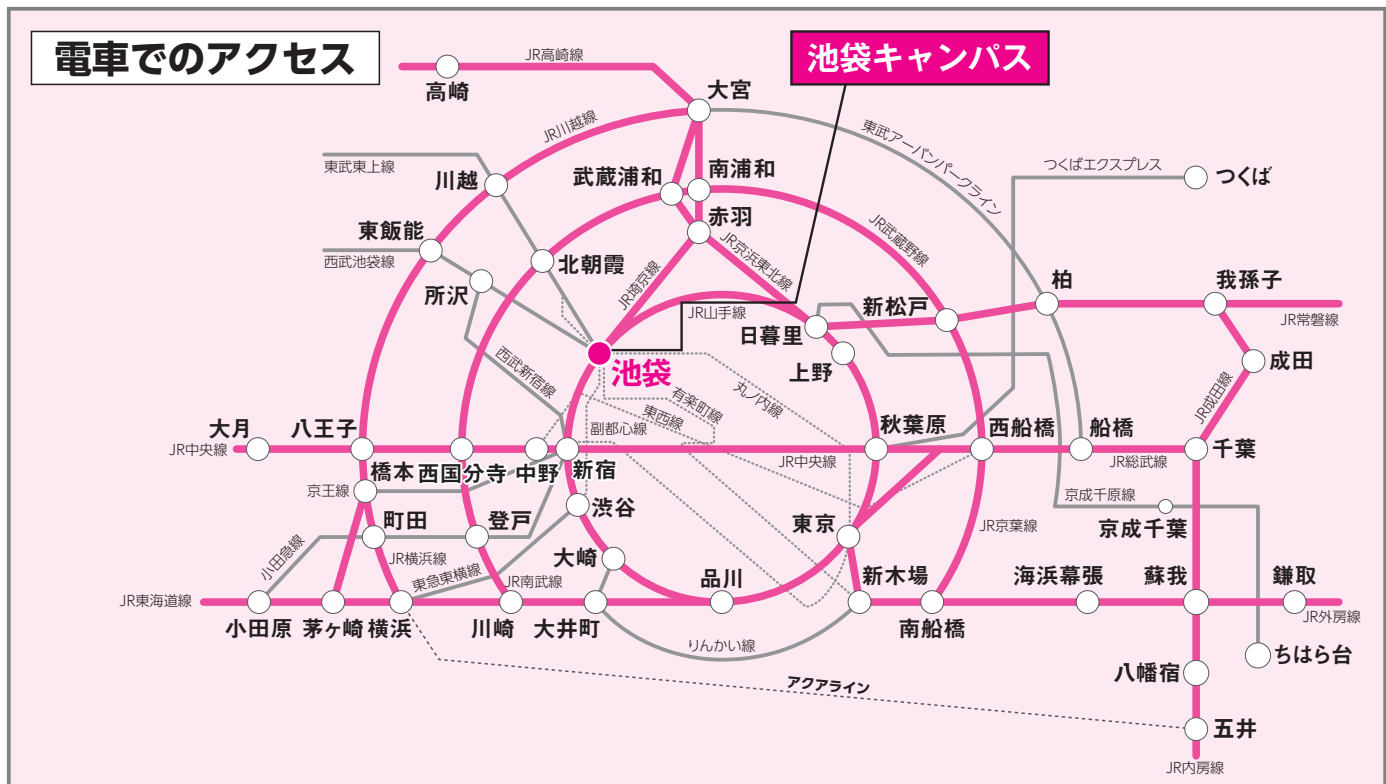
● 入学辞退手続

入学手続後に入学を辞退する方は、**2027年3月31日（水）16:00までに**入学手続ページ内の「入学辞退手続」ボタンから、入学辞退の申請手続を行ってください。手続完了後、入学金を除いた納付金の返還を受けることができます。

- ・入学辞退申請後の入学辞退の取消はできません。
- ・上記期限までに申し出のない場合、納付金は一切返還しません。
- ・納付金の返還は、申請日の翌月末に行います。

試験場案内図

事前の試験場の下見は、交通機関・道順・所要時間・試験場の位置を調べるにとどめてください。
試験場への立ち入りはできません。



看護学研究科

修士課程 看護学専攻

● 授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
共通科目	看護学研究方法特論	学部教育等で学んだ基礎的看護研究論について、さらに広い視野から学修する。そのため、質的研究・量的研究それぞれを別々のものとして学ぶのではなく、グラウンデッドセオリーやエスノグラフィーによるアプローチ、看護ケアを評価するための尺度の構成、生態学的な保健医療福祉の概念形成などについても概説する。また、研究を遂行する上で必要な倫理的配慮の視点や、プレゼンテーションスキルについても学修する。
	保健統計学特論	量的研究に必要な統計学の基礎的知識を教授する。また、量的研究論文のクリティークを通して、それらの論文の統計手法を学修し、自らの研究に活用できるように教授する。
	看護倫理学特論	生命倫理・看護倫理における概念や理論、倫理原則などについて教授する。それらをもとに、看護実践における倫理的課題について深く追求するとともに、倫理的問題解決技法を学修し、倫理調整力(問題の認定・分析・解決・評価)を修得する。
	看護管理学特論	看護におけるマネジメントに必要な知識と技術、看護を取り巻く諸制度について教授し、看護ケアのマネジメント、看護職のキャリアマネジメント、看護サービスのマネジメントについて講義、文献購読・クリティーク、ディスカッションを通して理解を深める。また、現代社会における病院、地域におけるマネジメント上の課題と戦略について考察を深める。
	看護教育学特論	「看護教育制度及び関連法規」の観点から看護職養成教育の歴史的変遷を概説するとともに、現在、社会が求めている「看護実践能力」についても教授する。また、教育ならびに臨床現場(クリニカル・ラダー研修など)で系統的・体系的な教育活動を行うために必要な基礎的知識やスキルについても学修する。
	フィジカルアセスメント特論	看護援助を行ううえで、対象の理解と健康状態の的確な分析・判断が必須である。本科目では、看護学の対象となる患者のフィジカルアセスメント(身体的評価)解析の際に必須となる基本概念に関する内科診断学の知識や、健康歴および病歴の聴取を通じて、それぞれの場合に至適と考えられるフィジカルアセスメントの技法について学修する。
	遺伝・感染学特論	遺伝操作医療技術の目覚ましい発達により、遺伝性疾患や悪性腫瘍などの分野で遺伝子治療の道が開けたが、その半面、倫理的、法的、社会的問題を引き起こす懸念も増大している。またグローバル社会の到来が、様々な輸入感染症の流行を引き起こしている。本科目では、遺伝学および感染症に関する深い知識を修得し、患者の遺伝的背景や診断・治療についてのアドバイスや生活支援、感染予防対策について、看護師として実践・教育の場で指導的な役割を果たせるようになることをめざす。
	病態生理学特論	神経筋疾患は、俗にいう「難病」であることが多い。本科目では、さまざまな神経筋疾患をとりあげ、人体の正常な生理機能と病態を有機的に学ぶ。成人および高齢者医療全般における話題やトピックをとりあげ、神経難病医療や高齢者医療の場で看護専門職として果たすべき役割について考える。

● 授業科目名等は変更になる場合があります。

看護学研究科

修士課程 看護学専攻

● 授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
専門領域科目	基礎看護学実践特論Ⅰ	基礎看護学領域(哲学・看護理論、看護技術、看護教育、専門職連携など)における、量的・質的研究や人間の体験を明らかにする現象学・MGTA、理論構築と理論検証のステップについて教授する。また、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 ガイダンス、研究に関する声明が理解できるように教授する。
	基礎看護学実践特論Ⅱ	基礎看護学領域(哲学・看護理論、看護技術、看護教育、専門職連携など)に関する文献のクリティックを通して、研究計画立案、倫理申請、論文執筆に関する知識が理解できるように教授する。
	基礎看護学実践演習	文献検索、関連文献のクリティック、文献レビュー作成、研究計画書・倫理申請書類の作成の方法について教授し、研究を遂行するための基礎的能力を培う。
	成人看護学実践特論Ⅰ	健康障害を抱えた人々とその家族の反応や療養行動特性、生活に及ぼす影響に関する理解を深め、望ましい看護の在り方について考察する。
	成人看護学実践特論Ⅱ	「成人看護学実践特論Ⅰ」での学修をもとに、各自の研究課題に関連する先行研究文献レビューを行い、研究課題の焦点化と研究の意義を明確にする。
	成人看護学実践演習	「成人看護学実践特論Ⅱ」で焦点化した研究課題に関連の深い場でフィールドワークを行うための計画を立て、データ収集・分析を行い、研究を遂行するために必要な基本的能力を修得する。
	老年看護学実践特論Ⅰ	老年看護において看護実践するために必要な諸理論について理解を深め、有効な援助方法について検討する。また、老年看護のあり方について考察し、看護実践における課題や看護職の役割について学びを深める。
	老年看護学実践特論Ⅱ	高齢者に関する援助方法や実践的視点から国内外の研究論文を精読し、老年看護の現状と課題について検討する。また、自己の関心領域における老年看護学研究的動向について把握し理解する。
	老年看護学実践演習	老年看護学領域で関心ある課題に沿って文献レビューを行い、自己の研究課題の明確化と焦点化を図るとともにその探求方法について検討し、研究計画立案へのプロセスを踏む。
	小児看護学実践特論Ⅰ	成長発達理論や小児保健の国内外の動向を学び、子どもにより良い健康を提供するための看護援助方法を学ぶ。小児疾患を持ち、成長する子ども及び家族に対する看護援助を検討する。また、成長後も子ども自らが自分の健康を維持できるようセルフケアについての方策を検討できるよう小児看護学に対する知識を広める。
	小児看護学実践特論Ⅱ	「小児看護学実践特論Ⅰ」で学んだ理論や子どもの取り巻く環境を理解した上で国内外の文献をレビューする。文献レビュー後、どのような課題があるのかを検討する。また、文献から小児看護学で研究されている研究方法についてクリティックを行う。自己の研究課題を明確化する。
	小児看護学実践演習	「小児看護学実践特論Ⅰ・Ⅱ」を終了し、国内外の動向を基に自己の研究課題を明確化する。また、自己の研究課題に沿った国内外の論文のクリティックを行い、研究課題をより精度の高いものにするよう学びを深める。研究計画書の立案を行い、自己の研究に対するプレゼンテーションを実施する。
	精神看護学実践特論Ⅰ	精神保健福祉制度とその歴史や課題、精神の健康状態を把握する評価のための面接や尺度、診断基準、精神看護学に関する諸理論について理解を深め、精神に障害を有する人や広くメンタルヘルスへの精神看護実践を行う能力を養う。
	精神看護学実践特論Ⅱ	研究課題に関連する先行研究の文献レビューを行い、研究の焦点化と意義、ならびに背景を構築し、研究課題に関連した文献を読み込み、クリティックの実施を行い、研究課題を焦点化し、研究テーマ、意義を明確にし、課題研究に関してスコーピングレビューを実施し、基礎論文として投稿を行う。
	精神看護学実践演習	研究テーマに関連した背景、意義をもとにリサーチエスチョンを明らかにするため、研究テーマに関連する概念モデルを構築し、リサーチエスチョンを基に、研究デザイン、アウトカム、測定尺度を決定し、研究計画書の作成を行う。
	母性看護学実践特論Ⅰ	母性看護学の基盤となる理論・概念およびその歴史的・社会的背景を理解し、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの視点から女性のライフサイクルにおける健康課題を多角的に分析する力を養う。また、国内外の研究動向を踏まえ、実践および研究へ発展させるための基礎的専門性を修得する。
	母性看護学実践特論Ⅱ	母性看護学における周産期継続ケアや地域支援システム、リプロダクティブヘルス／ライツに関する国内外の研究知見を批判的に検討し、実践改善や政策提言に必要な高度な判断力を養う。さらに、理論・概念・研究成果を統合し、自身の研究テーマに基づく研究計画や実践モデルを構築する応用力を身につける。

● 授業科目名等は変更になる場合があります。

看護学研究科

修士課程 看護学専攻

● 授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
専門領域科目	母性看護学実践演習	母性看護領域の臨床課題を多角的に分析し、理論・最新エビデンス・事例を統合した看護判断とケア計画の構築を学ぶ。文献の批判的検討や事例分析、討議を通して、根拠に基づく説明力と実践の妥当性を検証する能力を養う。
	在宅看護学実践特論Ⅰ	すべての人々が、住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで続けることができるよう、多職種連携の必要性や在宅看護のあり方を学修する。また、在宅看護領域における新たな資源の構築、既存のサービスの質の向上や課題を検討する。これらを踏まえて、地域包括ケアシステム実現にむけて、多様な場で提供されている看護の実践や果たすべき役割を、国内外の文献、諸制度から検討し、理解を深めることを目標とする。
	在宅看護学実践特論Ⅱ	「在宅看護学実践特論Ⅰ」での学修をもとに、各自の研究課題に関連する先行研究文献レビューを行い、研究課題の焦点化と研究の意義を明確にする。
	在宅看護学実践演習	「在宅看護学実践特論Ⅱ」で焦点化した研究課題に関連の深い場でフィールドワークを行うための計画を立て、データ収集・分析を行い、研究を遂行するために必要な基本的能力を修得する。
	公衆衛生看護学実践特論Ⅰ	公衆衛生看護学(産業保健を含む)の「概念や活動方法、看護職が担うべき役割」を理解した上で、公衆衛生看護活動における課題を研究的な視点で明らかにし、課題解決できる能力を身につける。
	公衆衛生看護学実践特論Ⅱ	「公衆衛生看護学実践特論Ⅰ」での学修をもとに、複雑化・多様化した社会および産業構造が地域住民や労働者の生活・労働環境にもたらす課題について先行研究レビューを行い、問題意識を持って課題に対する適切なアセスメントと問題解決能力を身につける。
	公衆衛生看護学実践演習	「公衆衛生看護学実践特論Ⅱ」での学修をもとに、焦点化した各自の研究課題に関係の深いフィールドにおける演習計画を作成し、データ収集や分析を行い、修士論文につながる研究テーマの設定や研究の意義を明確にする。
科目研究	看護学特別研究	各専門領域の担当教員の指導のもと、学生が自ら設定した研究テーマに基づき、修士論文を作成するために必要な研究推進能力(研究計画書の作成→研究倫理審査の受審→データ収集→分析→研究結果・考察→成果発表)を修得する。

● 授業科目名等は変更になる場合があります。

入学
者
選
抜
概
要出
願
手
続合
格
発
表
・
入
学
手
続試
験
場
の
案
内研
究
指
導
内
容

Q

&

A

看護学研究科

修士課程 看護学専攻

●教育研究および担当教員

学生の選択する看護研究テーマにもとづいて、担当教員が研究計画の作成と倫理的配慮、調査や研究の実際、分析と研究論文の作成、プレゼンテーションなどの一連の過程について指導を行う。

分野	研究指導内容	担当教員
看護倫理学、医療倫理学／看護教育学／基礎看護学／専門職連携教育	◇看護倫理学・医療倫理学：ジレンマ(分析、調整、評価)・倫理教育・ハンセン病 ◇看護教育学：学力／教育力の育成 ◇基礎看護学：看護の歴史、理論、初年次教育 ◇連携教育：チーム医療、連携実践	教授 吉澤 千登勢
小児看護学／小児保健	◇小児がん経験者・家族へのサポートグループ ◇子どもを亡くした家族のグリーフケア ◇発達障害および育児支援に関する検討	教授 井上 ひとみ
成人看護学／老年看護学	◇慢性疾患看護 ◇終末期ケア ◇看護基礎教育方法 ◇老年看護学 ◇家族看護学	教授 平川 美和子
保健学／公衆衛生看護学	◇保健行動の変容 ◇職場の健康問題 ◇学校保健	教授 善福 正夫
臨床医学：内科診断学	◇看護学の対象となる患者のフィジカルアセスメント(身体的評価)解析の際に必須となる基本概念に関する内科診断学の知識について ◇健康歴および病歴の聴取を通じて、それぞれの場合に至適と考えられるフィジカルアセスメントの技法について	教授 小林 ひとみ
内科系臨床医学／境界医学／基礎医学	◇神経内科学 ◇病態検査学 ◇生理学一般	教授 榎本 雪
在宅看護学	◇在宅看護、訪問看護 ◇重症心身障碍児のケア ◇認知症ケア ◇訪問看護師の教育プログラム ◇地域包括ケアシステムを担う住民ボランティア育成支援	教授 益田 育子
基礎看護学	◇看護における概念・尺度開発と理論構築 ◇看護技術(睡眠・休息、食生活支援介入) ◇看護教育・看護管理 ◇在宅ケア	教授 稲垣 順子
公衆衛生看護学	◇公衆衛生看護活動に関すること ◇感染対策における保健所の役割 ◇保健師教育に関すること	教授 高橋 郁子
高齢者看護学／リハビリテーション看護学	◇高齢者看護学 ◇障がい者の加齢に伴う健康・生活支援 ◇認知症高齢者のケア ◇高齢者のセクシュアリティ	教授 道木 恭子
成人看護学	◇看護師のわざ ◇看護技術の習得 ◇周術期看護 ◇成人看護学における看護	教授 河合 桃代

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

看護学研究科

修士課程 看護学専攻

●教育研究および担当教員

学生の選択する看護研究テーマにもとづいて、担当教員が研究計画の作成と倫理的配慮、調査や研究の実際、分析と研究論文の作成、プレゼンテーションなどの一連の過程について指導を行う。

分野	研究指導内容	担当教員
臨床看護学関連／精神看護学	◇精神看護 ◇メンタルヘルス ◇高度実践看護 ◇共同意思決定 ◇リカバリー ◇暴力や虐待の防止	教授 江波戸 和 子
看護基礎教育	◇教育方法 ◇教育評価	教授 中 山 富 子
社会医学、看護学およびその関連分野	◇助産師 ◇助産学 ◇母性看護学 ◇妊娠期 ◇分娩期 ◇産褥期 ◇子育て支援	教授 坂 田 清 美
産婦人科学関連／生殖内分泌学	◇生殖内分泌学を基礎に据えた不妊症領域の研究	教授 綾 部 琢 哉
母性看護学／助産学	◇思春期の健康 ◇家族計画	教授 永 瀬 つや子
看護マネジメント学／成人看護学	◇看護組織のマネジメント ◇看護人材支援・キャリア支援・プラチナナース人材支援 ◇看護の質保証	教授 小賀坂 好 子
生涯発達看護学関連	◇子どもと家族の看護に関する研究 ◇障害のある子どもと家族への看護・支援に関する研究 ◇小児看護学教育に関する研究	教授 久木元 理 恵
一般生理	◇基礎医学	教授 大 野 哲 生
小児科学、小児血液学、小児腫瘍学	◇小児看護における倫理：小児患者及び家族に関わる倫理 ◇疾患をもつ小児及び家族への援助：トータルケア ◇小児看護における多職種連携・地域連携	准教授 中 村 こずえ
公衆衛生看護学	◇産業保健・産業看護	准教授 猪 股 久 美

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

看護学研究科

修士課程 看護学専攻

●教育研究および担当教員

学生の選択する看護研究テーマにもとづいて、担当教員が研究計画の作成と倫理的配慮、調査や研究の実際、分析と研究論文の作成、プレゼンテーションなどの一連の過程について指導を行う。

分野	研究指導内容	担当教員
看護学およびその関連分野／基礎看護学関連／看護管理学／人材育成／キャリア発達	詳細が決まり次第、更新いたします。	准教授 草 柳 かほる
母性看護学／助産学	◇母性看護 ◇周産期における支援 ◇産後ケア ◇母子保健	准教授 梅 本 かおり
医学史／医療社会学	◇近現代医療の歴史的・社会的視点からの検討	准教授 松 村 紀 明
助産学／母性看護学	詳細が決まり次第、更新いたします。	准教授 河 内 浩 美
ライフサイエンス／高齢者看護学、地域看護学	◇老年看護学	准教授 太 田 淳 子
在宅看護学	◇訪問看護 ◇緩和ケア ◇在宅がん看護 ◇アドバンスケアプランニング ◇リフレクション	准教授 田 代 真 理
臨床看護学関連：精神看護学、緩和ケア	詳細が決まり次第、更新いたします。	准教授 村 田 涼 子
成人看護学／基礎看護学	◇看護基礎教育方法 ◇周術期看護 ◇シミュレーション教育	准教授 永 井 菜穂子
高齢者看護学／看護倫理	詳細が決まり次第、更新いたします。	准教授 石 川 由美子
看護基礎教育／成人看護学／急性期看護 シミュレーション教育／卒後教育	◇急性期看護領域における臨床判断能力や実践能力の育成をめざしたシミュレーション教育の活用 ◇教育プログラム、実地指導者の教育力向上や指導支援に関する研究	准教授 手 島 裕 子
基礎看護学／看護教育学／医療管理学	◇看護師の職務満足度と安全意識の関係に関する研究 ◇基礎看護技術に関する研究 ◇協同学習に関する研究	准教授 山 田 美枝子

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

看護学研究科

修士課程 看護学専攻

●教育研究および担当教員

学生の選択する看護研究テーマにもとづいて、担当教員が研究計画の作成と倫理的配慮、調査や研究の実際、分析と研究論文の作成、プレゼンテーションなどの一連の過程について指導を行う。

分野	研究指導内容	担当教員
地域研究関連	◇グリーフケア ◇遺族支援 ◇多重介護支援 ◇家族介護者 ◇訪問看護 ◇介護支援専門員等に関する研究	准教授 平野和美
母性看護学／助産学	◇助産学に関する研究 ◇性の健康 ◇産後の女性の性の健康 ◇助産実習に関する研究	准教授 今村久美子

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

看護学研究科

博士課程 看護学専攻

●授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
共通科目	看護研究特講	修士課程で修得した量的研究手法(実態調査研究・疫学的研究など)および質的研究手法(ナラティブリサーチ・アクションリサーチなど)の理解をさらに深める。そのうえで、看護の現象(QOL・ADL・ストレスなど)について、数量的に測定し客観的視点からデータの差や違いを明らかにする能力や、言葉や行動などを介してその根底に内在する意味を解釈し新たな知見を得ようとする質的データの信頼性を検証するための能力を養う。また、研究者として遵守すべき研究倫理に関する基本的な姿勢を修得する。
	高度実践病態生理学特講	代表的疾患の病態生理について理解し、エビデンスに基づいた症状アセスメントや、病態に即した質の高い療養生活をマネジメントすることができる能力を修得する。
	応用統計学特講	「看護研究特講」での学修成果をもとに、統計解析ソフトを用いて、データ解析手法を修得する。
	看護哲学・理論特講	哲学や思想のもとに看護理論家が開発した看護概念や理論を概観し、理論の構造や看護現象との関係性について理解を深める。また、自らの関心領域・分野の看護現象を看護理論を用いて分析し、看護実践の基盤である看護理論を開発することの意義・重要性について学修する。
	学際的看護ケア特講	様々な看護現象を、看護学の視点からだけでなく看護を取り巻く関連分野も踏まえ学際的な視点から捉え、主体的に探求する能力を修得する。
基盤看護学領域 専門科目	看護教育・キャリア開発特講	看護基礎教育課程や臨床現場で教育を担う看護職が、授業設計や院内研修を企画・運営する上で必要な教育学上の基本的な知識や手法を学修し、看護教育に必要な実践能力を養う。また看護職の資格取得後の継続教育の現状を把握し、キャリア開発のための目標設定や管理、仕事へのモチベーション、自己成長・自己実現への取組みについて検討し、自らのキャリア開発のためのプランニングをすることができる能力を修得する。
	看護教育・キャリア開発演習	学生が関心のある「看護教育学」「看護キャリア開発」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。
	看護倫理学特講	看護実践の場で直面する倫理的葛藤や問題に対応するために必要な基本的知識(法律・倫理指針・倫理綱領・倫理原則など)や、看護職に課せられた倫理的責務について学修する。また、倫理事例を介して、「看護における倫理とは何か」や「質の高い意思決定支援」、「倫理問題発生時の問題解決スキル」についても学修する。
	看護倫理学演習	学生が関心のある「看護倫理学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。

●授業科目等は変更になる場合があります。

看護学研究科

博士課程 看護学専攻

● 授業科目の概要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容
専門科目	ケア実践看護学領域 成人・高齢者看護実践開発特講	成人期ならびに高齢者の健康・生活課題や患者を支える家族へのケア、社会支援に関する現況について、最新の看護・医療・社会状況を踏まえて学修する。また、看護の対象者の身体的・精神的・社会的QOLの向上や社会復帰、スピリチュアルケアにも視点を置き、患者・家族に適した質の高い看護ケアについても学修する。
	成人・高齢者看護実践開発演習	学生が関心のある「成人看護学」「高齢者看護学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。
	小児看護学実践開発特講	各期の子どもの成長・発達や、これらに影響を及ぼす家族との関係性や関連要因、家庭や社会を取り巻く現況と小児医療・小児保健分野における現状について学修する。また、当該分野における最新の看護課題を提示し、看護の対象者の身体的・精神的・社会的QOLの向上に寄与することができる看護実践のあり方についても学修する。
	小児看護学実践開発演習	学生が関心のある「小児看護学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。
	地域包括看護学領域 地域・在宅支援看護学特講	地域で生活する様々な健康レベルにある人々の現状や、在宅療養者とその家族・訪問医療/看護の現状について、当該分野における最新の看護課題を提示し、看護の対象者の抱える健康問題を生活の視点から捉え、個人・家族・集団へのアプローチのみならず、地域包括ケアシステムについても学修する。また、保健・医療・福祉の有機的連携などについても学修する。
	地域・在宅支援看護学演習	学生が関心のある「地域看護学」「在宅看護学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。
	地域保健看護学特講	地域で生活する人々が、ライフステージに応じた健康管理行動がとれるよう、保健学・看護学の視点から学修する。また、当該分野における最新の看護課題を提示し、健康の保持・増進に向けた予防的な取組みについても多角的に学修する。
	地域保健看護学演習	学生が関心のある「地域保健学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。
研究科目	看護学特別研究	各看護学領域における特講・演習の学修を踏まえ、学生の研究動機に基づき、看護学の学術的発展に貢献しうる研究計画を立案し、研究倫理を遵守してデータの収集・分析、論文作成、発表に至るまでの一連の研究過程を通し、研究者として自立して研究を推進することができる能力を修得する。

● 授業科目等は変更になる場合があります。

入学
者
選
抜
概
要出
願
手
続合
格
発
表
・
入
学
手
続試
験
場
の
案
内研
究
指
導
内
容

Q

&

A

看護学研究科

博士課程 看護学専攻

●教育研究および担当教員

領域(分野)	研究指導内容	担当教員
基盤看護学 (看護教育／キャリア開発、 看護倫理学)	◇看護、医療倫理学：ジレンマ(分析、調整、評価)・ 倫理教育・ハンセン病 ◇看護教育学：学士力／教育力の育成 ◇基礎看護学：看護の歴史、理論、初年次教育 ◇連携教育：チーム医療、連携実践	教授 博士 (医科学) 吉澤 千登勢
ケア実証看護学 (小児看護実践開発)	◇小児がん経験者・家族へのサポートグループ ◇子どもを亡くした家族のグリーフケア ◇発達障害および育児支援に関する検討	教授 博士 (保健学) 井上 ひとみ
ケア実証看護学 (成人・高齢者看護実践開発)	◇慢性病看護学 ◇ターミナルケア ◇老年看護学 ◇家族看護学	教授 博士 (医学) 平川 美和子
地域包括看護学 (地域保健看護学)	◇保健行動の変容 ◇職場の健康問題 ◇学校保健	教授 博士 (医学) 善福 正夫
リウマチ膠原病内科 (成人・高齢者看護実践開発)	◇臨床医学：内科学一般アセスメントと看護ケア ◇膠原病疾患・循環器疾患における臨床診断・治療： 病態生理及び病因 ◇膠原病疾患と循環器疾患の関連：慢性炎症による心 血管病変の発症 ◇最新モダリティ・人工知能を活用した診断及び治療	教授 博士 (医学) 小林 ひとみ
内科系臨床医学、境界医学、基礎 医学 (成人・高齢者看護実践開発) (地域・在宅支援看護学)	◇高次脳機能障害、運動機能障害、認知症など、神経 内科領域の各疾患について	教授 博士 (医学) 榎本 雪
基礎看護学	◇看護における概念・尺度開発と理論構築 ◇看護技術(睡眠・休息、食生活支援介入) ◇看護教育・看護管理 ◇在宅ケア	教授 博士 (医学) 稲垣 順子
公衆衛生看護学	◇公衆衛生看護活動に関すること ◇感染対策における保健所の役割 ◇保健師教育に関すること	教授 博士 (医学) 高橋 郁子
成人看護学	◇看護師のわざ ◇看護技術の習得 ◇周術期看護 ◇成人看護学における看護	教授 博士 (看護学) 河合 桃代
在宅看護学	◇在宅看護、訪問看護 ◇重症心身障碍児のケア ◇認知症ケア ◇訪問看護師の教育プログラム ◇地域包括ケアシステムを担う住民ボランティア育成 支援	教授 博士 (健康科学) 益田 育子

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

看護学研究科

博士課程 看護学専攻

●教育研究および担当教員

領域(分野)	研究指導内容	担当教員
臨床看護学関連 精神看護学	◇精神看護 ◇メンタルヘルス ◇高度実践看護 ◇共同意思決定 ◇リカバリー ◇暴力や虐待の防止	教授 博士(看護学) 江波戸 和 子
看護基礎教育	◇教育方法 ◇教育評価	教授 博士(歯学) 中 山 富 子
高齢者看護学／ リハビリテーション看護学	◇高齢者看護学 ◇障がい者の加齢に伴う健康・生活支援 ◇認知症高齢者のケア ◇高齢者のセクシュアリティ	教授 博士(保健医療学) 道 木 恭 子
社会医学、看護学およびその関連分野	◇助産師 ◇助産学 ◇母性看護学 ◇妊娠期 ◇分娩期 ◇産褥期 ◇子育て支援	教授 博士(医学) 坂 田 清 美
一般生理	◇基礎医学	教授 博士(医学) 大 野 哲 生
産婦人科学関連 生殖内分泌学	◇生殖内分泌学を基礎に据えた不妊症領域の研究	教授 医学博士 綾 部 琢 哉
小児血液腫瘍学、小児慢性特定疾病 (小児看護実践開発)	◇小児看護における倫理：小児患者及び家族に関わる倫理 ◇疾患をもつ小児及び家族への援助：トータルケア ◇小児看護における多職種連携・地域連携	准教授 博士(医学) 中 村 こずえ
公衆衛生看護学	◇産業保健・産業看護(労働者の健康支援・職場環境改善・健康づくり)	准教授 博士(保健学) 猪 股 久 美
小児科学、小児血液学、小児腫瘍学	◇母性看護 ◇周産期における支援 ◇産後ケア ◇母子保健	准教授 博士(医学) 梅 本 かおり
医学史、医療社会学	◇近現代医療の歴史的・社会的視点からの検討	准教授 博士(医学) 松 村 紀 明
ライフサイエンス／高齢者看護学、地域看護学	◇老年看護学	准教授 博士(老年学) 太 田 淳 子

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

看護学研究科

博士課程 看護学専攻

● 教育研究および担当教員

領域(分野)	研究指導内容	担当教員
在宅看護学	◇訪問看護 ◇緩和ケア ◇在宅がん看護 ◇アドバンスケアプランニング ◇リフレクション	准教授 博士 (看護学) 田代真理
成人看護学／基礎看護学	◇看護基礎教育方法 ◇周術期看護 ◇シミュレーション教育	准教授 博士 (医学) 永井菜穂子
地域研究関連	◇グリーフケア ◇遺族支援 ◇多重介護支援 ◇家族介護者 ◇訪問看護 ◇介護支援専門員等に関する研究	准教授 博士 (医療福祉学) 平野和美

● 担当教員、研究指導内容等に変更になる場合があります。

Q & A

帝京平成大学大学院 看護学研究科【修士課程・博士課程】

単位認定について

Q：大学院中退ですが、以前通学していた大学院での修得単位は認定されますか？

A：修得内容を確認のうえ、認定の可否を判断します。

Q：科目等履修生で、既に修得した単位は認定されますか？

A：修得内容を確認のうえ、認定の可否を判断します。

研究テーマ・担当教員について

Q：研究テーマ・担当教員はどのように決めるのですか？

A：出願前に担当希望教員と事前面談を行います。正式な担当教員は入学者選抜試験合格後に決定し、入学後に担当教員と協議して研究テーマを決めます。

授業料後払い制度について

Q：大学院修士段階における「授業料後払い制度」は利用できますか？

A：利用できます。詳細は本学ホームページをご確認ください。

研究環境について

Q：図書館ではどのようなサービスを提供していますか？ 図書館の開館曜日・時間帯はどのようになっていますか？

A：図書館では、図書の貸出・予約・購入希望申込受付・文献複写・情報端末の利用・コピー等のサービスを提供しています。図書の貸出冊数は5冊まで、期間は28日間です（長期休暇時は長期貸出を行います）。開館時間は、平日8:45～21:30、土曜日8:45～17:00です（長期休暇時は時間変更の場合があります）。日曜・祝祭日・年末年始などは休館です。

出願書類の受付について

Q：出願書類の窓口受付はしていますか？

A：受験料の納付を済ませてから、出願書類を入試課へ出願期間内に持参してください。

受付時間 平日9:00～16:00 土曜日9:00～12:00

日曜、祝日の事務取扱いはいたしません。

また、9/26、2/13は入館不可となるためご注意ください。

池袋キャンパス MiNoRiセントラル 入試課以外では、窓口受付はしていません。

入学選考関係について

Q：出願書類に不備があった場合は、どうなりますか？

A：出願書類に不備がある場合は受理できませんので、ご注意ください。

Q：合否判定の基準はありますか？

A：筆記試験・面接・書類審査などで総合的に判定します。

Q：合格発表はどのような方法で行われますか？

A：合格発表日（13:00～）から入学手続締切日（～23:59）まで、インターネットによる合否照会を実施します。

なお、合否照会の方法については、P.12をご覧ください。

その他

Q：通学にあたり、学生向けの駐車場・駐輪場はありますか？

A：駐車場はありません。

駐輪場はありますが、利用する場合は、入学後に申請が必要です。

Q：就職活動の支援を受けられますか？

A：就職支援室にて、履歴書添削や面接練習をはじめ、個別相談などの支援を受けることができます。

また、求人検索などができる本学独自の就職支援サイト「帝京平成大学キャリアナビ」の利用が可能です。



TEIKYO

帝京平成大学 入試課

HP <https://www.thu.ac.jp>

お問い合わせ

入試相談 ☎ 0120-918-392

TEL.03-5843-3200 FAX.03-5843-3210

池袋キャンパス 〒170-8445 東京都豊島区東池袋2-51-4

中野キャンパス 〒164-8530 東京都中野区中野4-21-2

千葉キャンパス^{※1} 〒290-0193 千葉県市原市うるいど南4-1
(2026年度)

千葉キャンパス^{※2} 〒290-0192 千葉県市原市ちはら台西6-19
(2027年度以降)

※1 2027年4月より「千葉スポーツキャンパス」へ名称変更予定です。

※2 2026年度以前の名称は「ちはら台キャンパス」です。